

施設名	旧山根製錬所煙突		 <p>新居浜市公式サイトより引用</p>						
所在地	愛媛県 新居浜市								
管理者等	新居浜市								
施設種類・分野	建築								
施設概要 (明治期との 関連含む)	<p>旧山根製錬所は、低品位鉱処理の湿式収銅により副産物の硫酸・銑鉄などを産出、当時の最先端技術工場であった。住友家初代総理人の広瀬幸平が、東京大学の岩佐巖教授にドイツで学んだ低品位鉱処理の意見を徴取し、技術を取り入れるべく住友の工師として招へいし、明治21年に竣工した。明治28年に製錬所廃止。現在、煙突のみ現存している。煉瓦造(イギリス積)、高さ約20m、角型。</p>								
築造時期	明治中期			時期詳細	明治21年5月				
関連人物	広瀬幸平(住友家初代総理人)、岩佐巖(東京大学教授)								
関連企業	住友金属鉱山(株)								
トピックス (特徴的エピソード)	約120年以上経過した現在、旧山根製錬所跡の生子山に残る煙突は、我が国の近代化が、鉱業が重化学工業へと派生、発展した歴史的経緯を物語っている。現在は、散策道等の周辺整備が行われ、市民団体の環境保全活動等により維持管理されている。市民からは地域のシンボルとして「えんとつ山」の愛称で親しまれ続けている。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	愛媛県近代化遺産総合調査報告書(愛媛県教育委員会文化財保護課 2013年)								
管理者等のHP(URL等)	新居浜市 http://www.city.niihama.lg.jp/								